

「郷土研所蔵の古文書の日録公開と研究4」事業の進捗状況について

神谷 智（「郷土研所蔵の古文書の日録公開と研究4」事業責任者）

愛知大学総合郷土研究所（郷土研）には、長年にわたって収集されてきた歴史的古文書が多数所蔵されている。仮目録をもとにして古文書の点数を数えると合計で50,000点を超えている。収集された古文書の多くについては仮目録がすでに作成されているが、これはあくまでも「仮目録」であり、体裁も統一されておらず、内容の再検討も必要とされていた。またこの仮目録は研究所に配架して閲覧には供しているが、広く一般に閲覧できるものとはなってはいなかった。

こうした状況を克服するため、形式や内容がきちんと整備された目録を作成し公開する事業を2016年度から開始した。従来の仮目録の内容を点検して整備された「目録」を作成し、冊子目録として刊行するとともに、目録のデータベースをホームページ上で公開するというのが具体的な作業である。また、目録作成の作業や作成された目録をもとにして、古文書にかかわる研究を進め、学内外に広く公表することも目的としている。

これまで2016～2018年度（渥美郡関係文書）、2018年度～2020年度（渥美郡以外の三河国関係文書）、2020年度～2022年度（松坂家文書）の3回に渡って事業を行い、その成果の詳細は、各年度の本紀要に掲載されている「事業の進捗状況について」を参照されたい。

4度目の今回は2023年度～2025年度の3か年計画で、尾張国関係文書約4,000点を対象に、これまで同様、文書整理・目録作成・データベースの公開、および報告会・展示会の開催を予定している。なお11月末現在で約1,900点の整理を終えている（詳細は別表参照）。

以上の事業のうち、冊子目録刊行作業とデータベースのホームページ上での公開の作業、展示公開については、おもに田中博久（郷土研研究員）が担当している。

文書群番号	文書群名	点数	総点数
36-13	鳴海下郷家文書	90	93
36-14	布袋町桑間屋文書	10	11
36-15	木賀村文書	4	6
36-16	大野村	14	45
70	大口家文書	25	27
73	正雲寺文書	167	359
88	石垣家文書	4	7
91	村瀬家文書	32	47
120	桑名郡五明村伊藤家文書	575	669
137	丹羽郡犬山町前田家文書	92	111
142	尾州大野村平野家関係文書	44	385
100	多加森村野村家文書	83	111
	計	1140	1871